

大学院看護学研究科 博士前期課程		授業 科目	精神看護援助論Ⅴ（精神領域のセラピー） Nursing Care of Psychiatric and Mental Health Nursing Ⅴ			担当 教員	安藤幸子（専任） 山岡由美（専任）	
開講年次	1年次前期	単位数	2単位	科目 分類	専門科目	授業形態	ゼミ	
選択必修	必須	時間数	30時間			使用教室		
授業の目的及びねらい		<p>心の健康問題をもつ個人・家族、集団に対して適用される看護面接、認知行動療法、集団精神療法、リラクゼーション、アロマセラピーの理論とその技法を講義、事例、演習などを通して学び、精神看護専門看護師として、卓越した実践ができるための能力を養う。</p>						
授業のキーワード		看護面接、認知行動療法、集団精神療法、リラクゼーション、アロマセラピー						
講義回数	授業内容及び計画							
1～4回	患者・家族を対象にした看護面接 カウンセリングスキル 治療的なコミュニケーション技法 対象者のアセスメントと面接の展開 看護面接の演習							
5～8回	認知行動療法の歴史と基本理論 認知行動療法の基本モデル、認知行動療法の基本スキル うつ病性障害を抱える患者を対象にした認知行動療法の展開方法と看護への適用 （認知再構成法を用いた個人ワーク、グループワークを含む）							
9～10回	集団精神療法の歴史と基本理論 集団精神療法の技法 集団精神療法と看護 看護師が行う集団精神療法の事例							
12～15回	リラクゼーションの目的・効果・種々の方法 自律訓練法の実際（ビデオ学習と演習） 漸進的筋弛緩法の実際（演習） 呼吸法の実際（演習） イメージ法の実際（演習） アロマセラピーの実際（理論と演習）							
テキスト	なし							
参考文献	授業中に提示します							
成績評価の方法	プレゼンテーション、ディスカッション、演習（80%）、課題レポート（20%）							
教員から学生へのメッセージ	演習を多く組み入れた実践的な授業です。専門的なセラピーや介入の技術を高められるよう、主体的・積極的な参加を期待します。							